

平成 18 年度大学院中間発表会 (第 1 回) プログラム

日時:平成 18 年 9 月 6 日 (水) 14 時 30 分～／場所:教育研究交流プラザ (2 階)

- 14:30～14:35 歯学府長挨拶
 14:35～14:40 教務委員長による説明
 14:40～17:30 司会者進行による発表・討論 (発表は 5 分、討論は 10 分程度)
 休憩は司会者の判断で適宜とるものとします。
 18:00～ 歯学会主催懇親会 (生協にて) 優秀発表の表彰が行われます。
 昨年度から中間発表会は九州大学歯学会の協賛で行なっております。

会場 A 司会: 福本 敏 (A1-3)・城戸 瑞穂 (A4-7) 会場:セミナー室4

演 者	演 題 名
1. 南里篤太郎	骨芽細胞分化における NOV(CCN3)の役割
2. 甲斐田 光	再生促進因子を応用した象牙質誘導法の開発
3. 友清 淳	多分化能を持つヒト歯根膜クローン細胞株の樹立とキャラクターゼーション
4. 吉崎 恵悟	神経成長因子 NT-4 によるエナメル芽細胞の分化制御
5. ヘンダルミン ライファ アニサ	TNF α played a role in cell survival through Akt and MAPK signalling pathway in ameloblastoma
6. 中川 久子	培養口腔扁平上皮癌細胞 (SAS 細胞) の血管新生活性における低酸素環境の影響
7. 高橋 眞一	カルモジュリン依存性キナーゼ II を介した血管受容体作動性 Ca ²⁺ チャネル TRPC6 の活性化制御に関するアミン酸残基の探索

会場 B 司会: 中山 英二 (B1-3)・中川 雅晴(B4-6) 会場:セミナー室3

演 者	演 題 名
1. 山本 悦子	顎変形症患者における咀嚼筋機能の変化について
2. 藤川 晴彦	唾液中の高分子とフッ化物がエナメル初期う蝕の再石灰化に及ぼす影響 (in vitro) についての研究
3. 山本 晋也	PDGF によるマウス顎下腺分岐形態形成の制御
4. 松木 良介	マウス顎下腺 side population 細胞について
5. 小田 亮	アパタイトセメントの物性向上に関する検討
6. Q.H.M Shawket Zaman	Synthesis of Si-substituted hydroxyapatite by solid state reaction and its cell response